

件名

平成29年度コミュニティ交流会開催について

日時：平成29年8月27日（日） 11時00分～15時15分
場所：市民福祉プラザ5階
参加者：合計39名（35町内会）
地区：鴨池地区、谷山地区、吉田・桜島・喜入支所管内
会次第：別紙のとおり

【意見交換による6グループの事例等の発表】**Aグループ**

○「町内会の現状について」

- ・加入率100%のところもあれば、40%や20%もあり、地域の事情にもよる。
- ・パチンコ、ゴルフなどの遊びや習い事をする人が増え、交流範囲が広がったが身近な人とのつながりが減った。
- ・町内会費は、社会がまわる潤滑油である。

○「募金について」

- ・町内会で活動に差がある。一生懸命しているところには、行政としてバックアップしてほしい。

○「補助金等行政の支援について」

- ・行政のチラシで明確に知らせるべき。
- ・大きな町内会は申請がしやすいが、小さな町内会は申請がしにくいのでは。
- ・若い人が町内会活動をするために休みを取る場合は、特休を与えるなど、企業に働きかけてほしい。

Bグループ

○「町内会の現状について」

- ・見守り活動が心配である。
- ・あいご会世帯の脱退（子どもが大きくなると脱退する）。
- ・役員が負担で脱退。
- ・あいご会費が町内会費のウェイトを占めている。
- ・ごみステーションの未加入者の利用について、マナーが守られていない。未加入者へは伝達が難しい。
- ・マンションは管理組合が町内会業務を行っている。
- ・防災対策について、隣同士で助け合いが必要である。熊本・福岡の災害時も助け合っていた。婦人会の炊き出しや地域の方々の協力が必要である。

○「加入促進について」

- ・町内会単位でチラシを作成して配布している。
- ・小中学生を巻き込んで、若い世代の加入促進につなげれば。
- ・市の作成しているCMをかごしま弁などでインパクトの強いものにしてはどうか。
- ・仕事を持っていると役員をできずに脱退する人も多い。Aグループからも意見が出たが、企業がもっと協力して、町内会活動に貢献していけばよいと思う。お互い様の精神である。

Cグループ

○「会長職について」

- ・グループ内の会長歴は11年、7年、5年、1年である。
- ・会長の後継者、役員の成り手がいない。
- ・後継者の目星をつけて、人間関係を築いておく。

○「加入率が低い」

- ・高層マンションが増加した。オーナーが加入前提で動くとありがたい。
- ・新しいマンションとの接触の機会が少ない。

- ・公務員の協力をお願いしたい。
- ・新しい住居を構えて転居したら、上司に町内会長にあいさつに行けと言われて、それから町内会に加入した。とても良い事例だと思う。

○「募金について」

- ・予算化しているところがあれば、個人の自由なので予算化していないところもある。

○「会費について」

- ・エレベーターがある市営住宅の町内会は、1,000円徴収しているところもある。

○「連絡網について」

- ・子どもたちが県外にいる場合も、連絡網に連絡先を掲載している。

Dグループ

○「町内会の現状について」

- ・役員を選出方法については、無記名投票を行っている。
- ・総会時に役員候補者の事前面談を行うところもある。
- ・会長が高齢化していて、人集めが難しい。
- ・ごみの不法投棄がある。他の地区から動物の死骸が置かれたこともある。
- ・加入率は99%のところもあるが、自分のところは50%くらいである。
- ・市からの連絡が多い。会議も多い。
- ・会費の集金について、年間一括や半年ごとなど、町内会によって様々である。
- ・敬老会は70歳以上を対象にしているが、3分の2が対象者なので、75歳以上に変更したい。
- ・行事の人集めが難しい。
- ・町内会に入らなくてもよいと市に言われた人もいるらしい。
- ・行事は、補助金を利用して活用している。
- ・町内会の会議は2カ月に1回で、1週間前には連絡している。
- ・毎月10日と15日に回覧を回している。
- ・町内会に配布物の依頼をする時には、1か月以上前に送付してほしい。
- ・加入促進については、子どもを利用する方法もある。
- ・加入するメリットはあるのかとの問いに、防犯灯があると答えている。
- ・町内会活動を知らない人がいるのもっと宣伝を。
- ・単身赴任者への加入案内が大変である。
- ・建築許可の前に、町内会長の承諾印をとらせるようにしてほしい。

Eグループ

○「役員について」

- ・後継者がいない。育たない。小さな町内会も大きな町内会も共通な悩みである。
- ・防犯パトロールを若い父母に頼めば、我が子のことだから引き受けてくれるのでは。
- ・市OBに協力するように伝えてほしい。退職後は協力してくれない人もいる。
- ・夏祭りの準備などの肉体労働を若者にさせてみる。

○「加入率のアップについて」

- ・分譲マンションには建築段階からアプローチする。
- ・賃貸マンションはオーナーから入居者に話をするのは難しい。最初の段階でオーナーと文書を取り交わせばよい。

○「行政からの連絡について」

- ・行政からの連絡が多い。地域振興課だけでなく他課からも多い。簡素化をお願いしたい。

Fグループ

○「ごみステーションについて」

- ・未加入者に対して維持費を別に徴収しているところもある。
- ・不法投棄をさせにくくするために、まずきれいにする。位置を動かす。

○「町内会の活性化について」

- ・収入と支出の見直しを行う。資源回収に努め、収入を増やすようにしている。
- ・LEDへの切り替えや、古い冷蔵庫を買替えることによって、光熱水費を削減する。
- ・デスクワークではなく、執行部が汗を流すことによって若い人たちも動くのでは。
- ・行事を通して世代間交流を行う。

○「広報について」

- ・回覧板や掲示板で行っている。
- ・雨、台風のあとは、ポスターの貼り替えを行っている。
- ・年4回、未加入世帯へも配布しているところもある。

各グループの発表終了。